

まちづくり目標2 学び合い、育み合い、支え合い、自分らしく暮らせるまち

2-1 家庭・学校・地域が連携し、生きる力と豊かな心を育むまち
(教育・文化)

【重点施策】

(1)生きる力を育む家庭教育と学校教育の推進

(2)地域を愛する平和学習と伝統文化の継承

(3)学び・体験・交流の場や機会の充実

重点施策

(1)生きる力を育む家庭教育と学校教育の推進

施策のめざす姿(5年後のあるべき姿)

家庭教育※¹³の重要性が町民に浸透し、こどもの生きる力が育まれています。

家庭・学校・地域が連携し、こどもが安心して学び、「生きる力」「豊かな心」「健やかな体」を育む学校教育が展開されています。

現状・課題

現 状	課 題
○家庭環境はこどもの成長に大きな影響を与えることから、学習機会の提供や親子のふれあい活動などを通じて家庭教育の重要性の周知を図っています。	○子育てに対する考え方や家庭が多様化する中、様々な課題を抱える家庭が孤立することのないよう、地域・学校、関係機関が連携し、家庭教育を支える体制の充実が求められています。また、家庭・学校・地域が一体となって、こどもの「生きる力」を育む取組を推進する必要があります。

※¹³ 家庭教育:家族のふれ合いを通じて、こどもが基本的な生活習慣や生活能力、人に対する信頼感、豊かな情操、他人に対する思いやり、基本的倫理観、自尊心や自立心、社会的なマナーなどを身につけていくことをいいます。

現 状	課 題
○幼児教育(保育園、幼稚園、こども園)と小学校教育との円滑な接続を図るため、幼保こ小連携※14に取り組むとともに、こどもの発達段階に応じ幼・小・中で統一した「町そろえる実践※15」を実施しています。 ○「確かな学力」の向上に向け、学習支援員やALT等の配置、教育DXの推進、授業改善等に取り組み、基礎的・基本的な学力の定着を図るとともに、リーディングスキルの向上に努めています。 ○教職員がこどもと向き合う時間を確保し、その専門性を十分に発揮できるよう、勤務時間の適正な管理、校務の効率化、支援員等の配置など、学校における働き方改革に取り組んでいます。	○幼児教育と小学校教育との円滑な接続及び教育の一貫性をさらに高めるため、関係機関との連携及び情報共有を一層推進するとともに、接続を意識したカリキュラムの充実を図る必要があります。 ○教職員が担う業務が多様化・複雑化する中、教職員の心身の健康を確保し、質の高い教育を持続的に提供するため、業務の適正化や校務DX、専門スタッフ等との連携を一体的に進める必要があります。
○福祉教育の推進については、教育委員会と町社会福祉協議会が連携し「南風原町福祉教育推進事業」を実施しており、こどもの「思いやりの心」「社会連帯の精神」を育む取組を推進しています。	○福祉教育のさらなる充実に向けて町社会福祉協議会等の関係機関と連携強化を図る必要があります。
○不登校または不登校傾向にある児童生徒や、こどもへの対応に悩みを抱える保護者への支援を充実させるため、各種相談員を配置し、教育相談体制の充実を図っています。 ○放課後こども教室やクラブ活動の実施、安全マップづくりなどを通じて、こどもの健全な育成や危機管理能力の向上に努めています。	○児童生徒が相談しやすく、安心して学ぶことができる環境づくりに取り組む必要があります。 ○こどもの「生きる力」「豊かな心」「健やかな体」を育む教育の一層の充実を図るため、より良い教育環境の整備が求められています。
○各小中学校に学校運営協議会を設置し、学校・家庭・地域が連携した「地域とともにある学校」を目指し取り組んでいます。	○学校・家庭・地域が一体となって連携し教育に取り組む体制のさらなる強化が必要です。

※14 幼保こ小連携:成長過程において保育園、幼稚園、こども園、小学校それぞれの教育・保育課程を関係機関が連携してなめらかに接続することで、発達や学びの連続性を確保しこどもの健やかな成長を支援するための取組のことです。

※15 町そろえる実践:学校規律の確立を目的として町内各幼稚園、小・中学校で実施している「2分前着席」「1分前黙想」などの取組のことをいいます。

1

施策の展開

2

①家庭教育の推進

こどもの基本的な生活習慣や基本的倫理観、自立心を身につけるうえで重要な役割を担う家庭教育について、PTA活動や地域活動、学校等を通じて大切さや役割等に関する情報提供を推進するとともに、保護者が安心して子育てできる相談支援体制の充実を図ります。

②学校教育の質の向上

学習状況の分析に基づく「個別最適な学びと協働的な学び」の充実や、読み解く力の育成を重視した授業改善等により、「確かな学力」の定着を図ります。また、学校設備の更新やICT機器の更新・活用を計画的に実施し、安全で快適な教育環境を整えるとともに、特別支援教育の推進や不登校支援の充実を通じ、誰一人取り残されない教育を推進します。さらに、教職員がこどもと向き合う時間を確保し、その専門性を十分に発揮できるよう、業務の適正化や校務DXを推進し、質の高い教育を持続的に提供できる環境を整備します。

③福祉教育の推進

学校と教育委員会、町社会福祉協議会等との連携を強化し、福祉教育に関する情報共有や研修体制の充実を通して、学校等への支援体制の強化に努めます。

④心身の健やかな成長を育む教育環境の充実

地域の特性を生かした食育や運動・スポーツ等を通じた心身の健康づくりを推進します。また、安全・安心な学校生活を支える取組、情報社会に応じた教育、児童生徒の相談体制の充実等を総合的に推進し、こどもが安心して学び、健やかに育つことができる環境づくりを推進します。

⑤地域とともに支える教育体制の充実

コミュニティ・スクールと地域学校協働活動^{※16}(学校応援隊はえばる)を一体的に推進し、地域人材の活用や学校運営への参画を促進します。地域とともにある学校づくりを進め、学校・家庭・地域が連携・協働し、町民全体で教育を支える体制の充実を図ります。

3

※16 地域学校協働活動：地域住民や団体等が学校と連携・協働し、学習支援や学校行事などを通じて、地域全体でこどもの学びと成長を支える活動です。

重点施策

(2)地域を愛する平和学習と伝統文化の継承

施策のめざす姿(5年後のあるべき姿)

町民の平和意識と地域の歴史への理解が深まっています。

地域の文化・伝統・芸能等が保全・継承・活用されています。

現状・課題

現 状	課 題
○子ども平和学習交流事業や文化活動を通じて、平和に関する学びの機会を提供しています。 ○文化センター所蔵資料のオンライン閲覧など、データベースを活用したシステムが整備されています。	○より効果的な学びの手法について検討する必要があります。
○町内の小中学校や高校などでの出前講座、文化センターでのイベントを通じて、地域の歴史や文化と親しむ機会をつくっています。 ○伝統芸能については、貴重な地域資源として後継者の育成等に取り組んでいます。 ○「文化財や伝統工芸の保全、継承、活用」の取組について、重要度・満足度ともに高い結果となっています。(町民アンケート調査)	○地域資源の発掘と保存、活用(公開)等を適切に進めていくことが求められています。 ○伝統芸能を未来に継承するために、後継者の育成が今後も求められています。

施策の展開

①平和学習の推進

南風原文化センターや沖縄陸軍病院南風原壕群を学習拠点として活用し、歴史資料のデータベース化やオンラインでの展示を推進します。また、地域案内人の育成・活動支援、戦争体験者の証言や資料の保存などを通じた町の平和文化・歴史学習の充実を図ります。

②文化財や伝統工芸の保全、継承、活用

文化財の調査・管理・活用、南風原文化センターの利用促進、地域の歴史・文化に関する活動を通じて、町民が気軽に文化に触れる機会を創出します。各自治会や関係機関との連携を強化し、地域の文化・伝統の継承と魅力の向上を図ります。

重点施策

(3) 学び・体験・交流の場や機会の充実

施策のめざす姿(5年後のあるべき姿)

町民の国際理解が深まり、国際的な視野を持ったグローバル人材が育っています。
 こどもから大人まで学び・体験・交流できる機会が充実しています。
 スポーツ・レクリエーションを通じた健康づくりと交流が深まっています。

現状・課題

現 状	課 題
○国際交流事業でのホームステイ等による人材育成、海外からの研修生受け入れ等を実施し、国際社会に対応できる人材の育成に寄与しています。	○身近な外国人をはじめ、多様な異文化を持つ人たちとの交流を通じ、様々な考え方を学び国際的な視野を広げるような取組が求められています。
○南風原文化センター、公民館学級講座、各種社会教育団体の活動等を通じて、学びの場の充実を図っています。	○町民のニーズに合った講座の実施など、さらなる学びの機会の創出が求められています。
○小中学校において、伝統的な学びや体験講話の継承を通じて世代間交流が行われています。	○こどもと大人が関わることができる体験やイベント、高齢者等の持つ知識や技術、経験を次世代に受け継ぐ取組が課題となっています。
○町立図書館では、電子図書館の展開や絵本の読み聞かせ、時節に応じた企画展示を行っており、多くの町民が利用しています。 ○電子図書館利用率は増加傾向にあり、学校を中心によく利用されています。	○町民の読書ニーズは今後も増え続けることが予想され、蔵書の増冊など、図書館機能のさらなる充実が求められます。
○町体協による各競技・町陸上、教育委員会主催に各種スポーツ大会の開催、地域活動団体の支援など、町民の相互交流や健康増進に努めています。	○健康増進に向け、黄金森公園等のスポーツ施設を活用し、こどもから大人まで幅広い年代での運動習慣の定着が求められています。
○スポーツキャンプについて、サッカーやソフトボール、県外大学・実業団等の陸上競技合宿などを実施しています。 ○サッカー及びソフトボール教室をはじめ、様々な交流事業を開催しています。	○施設環境整備を含めた受け入れ体制を充実させ、継続的なスポーツキャンプの誘致に取り組んでいく必要があります。

現 状	課 題
○「スポーツ・レクリエーションの振興」の取組について、重要度・満足度ともに高い結果となっています。(町民アンケート調査)	

施策の展開

①国際交流を通じたグローバル人材の育成

国際交流の充実、ウチナーンチュ大会の活用等、移民した方々とのネットワークや交流活動を通じて、町内在住の外国人との身近な交流を促進します。また、相互理解を深め、国際的な視野を持ったグローバル人材育成を図ります。

②学び・体験・交流できる機会の充実

こどもから大人まで学び・体験・交流できる機会のさらなる充実を図ります。また、高齢者等の持つ知識や技術、経験を次世代に受け継ぐ世代間交流の充実を図ります。

③町立図書館の充実

来館型と非来館型を併用したハイブリット図書館の整備を推進し、町民の読書ニーズへの対応の充実を図ります。

④スポーツ・レクリエーション活動の充実

黄金森公園や町内の公園、学校体育施設等を活用し、各種スポーツ大会などの開催を通じて、スポーツ・レクリエーション活動の振興を図るとともに、こどもから大人まで安心してスポーツを楽しめる環境づくりや、気象リスクにも配慮した施設の整備・充実、地域住民の交流の場となるような多角的な公園活用を推進します。

⑤交流事業の推進による地域活性化

黄金森公園陸上競技場の環境を活用し、町観光協会等と連携してプロスポーツチームのキャンプ誘致等を図るとともに、交流を通じたスポーツ技術や意識の向上を図ります。

5年後(令和13年度)の目標値

指 標 名	現状値		目標値 (令和13年度)
	(令和2年度)	(令和7年度)	
家庭教育の重要性の周知に関する取組の満足度	60.3%※	68.8%※	77.3%※
学校生活が楽しいと感じている児童生徒の割合	小学校:88.6% 中学校:82.2%	小学:87.7% 中学:83.8%	小学校:99% 中学校:93%
平和学習・文化伝統芸能に関する取組の満足度	45.8%	47.8%	49.8%
学び・体験・交流できる機会の充実に 関する取組の満足度	36.6%	47.7%	58.9%

※アンケート調査にて「わからない」及び無回答を除いた回答者数を分母として算出した値

個別計画

○南風原町教育大綱

○南風原町立学校適正規模・適正配置に関する基本方針

○南風原町こども計画

本町の各種計画一覧
へのアクセスはこちら→

